



ラーメン二郎好きのいわゆるジロリアンで、レベルの高い合格点を超える一杯を求め、直系、インスパイア系問わず食べに行きます。また、アニメの聖地巡礼を兼ねて各地を訪れるのも楽しみの一つです。

国会の議論を内容面から支える

松島 健太

調査局農林水産調査室調査員
(平成24年入局)

農林水産委員会では、食料自給率の向上、スマート農業、農林水産物・食品の輸出力強化、家畜防疫対策、農山漁村の活性化、林業・水産業の成長産業化など、農林水産政策全般に関する幅広い議論が行われています。

私が所属する農林水産調査室では、議員等の依頼に応じた調査・レクをはじめ、提出法律案の参考資料作成、附帯決議の原案作成、予備的調査事務など、農林水産委員会における審査について内容面からのサポートを行っています。

当室には10名程度の調査員が在籍していますが、所管事項が多岐にわたることから、各調査員が複数分野を担当しています。私の場合、政策一般、農地制度、農協・金融、農村振興、米政策、漁業を担当しており、業界紙に目を通すなど日々の情報収集が欠かせません。また、若手調査員が調査から議員等への説明までを任されることも度々あります。議員相手となると特に緊張感が求められますが、レク内容が委員会質疑で使用されれば会議録として残りますし、時に新聞記事で取り上げられることもあり、責任感とやりがいを持って業務に取り組むことができると思います。

国会開会中には業務が立て込むこともありますが、基本的には、期限等を考慮しながら「今日は予定があるから早く帰ろう!」「今日はガッツリ作業を進めるぞ!」と、メリハリをつけて自分のペースで仕事を進めることができます。また、各種休暇も取得しやすいことから、ワークライフバランスを実現しやすい職場であると思います。

議員による政策形成の現場に関わることでできる調査局で皆さんと共にお仕事ができる日を楽しみにしております。

誇りとやりがいを持てる仕事

君野 祥子

調査局文部科学調査室調査員
(平成20年入局)

私が所属する文部科学調査室では、主に文部科学委員会に提出される法案に関する資料作成や、議員からの調査依頼への対応を行っています。また、所管事項に係る話題について、議員に対する情報提供を主眼とした資料を作成しているほか、委員会での質疑の内容をまとめた「委員会ニュース」等の作成もを行っています。

文部科学調査室は幅広い分野を所管しており、教育、文化、スポーツ、科学など多岐にわたります。議員からの調査依頼も、「今日のお昼までに〇〇関係の資料を集めて説明しに来て!」といった迅速性・即応力を求められるものから、「●●にかかる教育費の試算してほしい」といった専門性・緻密さが求められるものまで様々です(どれも正確さが第一であることは言うまでもありません)。そのため、基本的・専門的な知識の習得はもとより、日頃から様々な文献・新聞・ウェブサイト目を通したり、政府の審議会を傍聴したり、有識者を招いて勉強会を行うなどして幅広く情報や資料を収集し、整理しておく必要があります。また、それを議員等に対して分かりやすく、論理的に説明する力も求められます。プレッシャーもありますが、議員に提供した情報が委員会での議論に反映されるなど、成果が目に見える形で表れたときには充実感もあり、国会での議論を裏で支えているという誇りとやりがいを持って仕事に取り組んでいます。

また、衆議院事務局は、ワークライフバランスの面でも非常に魅力的な職場です。私は現在2人の育児中ですが、様々な両立支援制度を駆使するのみならず、周りの方々のあたたかい理解・協力のおかげで責任ある仕事ができることに、日々感謝しています。



20年来の推しのバンドの大阪遠征に子供も一緒に参戦してくれるようになり、とても感慨深いです!! 家族の誕生日に合わせて行っている近場旅行が、慌ただしい日々の中の楽しみの1つになっています。